



校長室だより 足立区立第九中学校

第102号 平成30年11月8日発行 長塚琢磨



【新たな自分への挑戦！ 11月！】

文化祭が終了し、落ち着いて自分を見つめるとともに、それぞれの目標を確認し「磨く」「挑む」時期となりました。

例えば、「部活動で〇〇大会に優勝するために、毎日◇◇を□□回やる」「中間考査の〇〇科で◇◇点以上とるために、毎日□□を〇時間やる」などの具体的な目標設定と実行が必要です。



人は素敵に変わることができます。しかし簡単ではありません。新たなバージョンアップした自分になるという「挑む」意思と、そのために自分を「磨く」努力が必要です。つらくても「自分に勝つ」素敵な中学生として夢を実現することを期待しています。

【改革 文化祭！そして進化・発展を目指す！】

10月26日（金）に文化祭を開催しました。本年度は、生徒たちの日常の頑張りを多く表現する視点から、大きな改革をしました。

舞台発表では、各学年、英語部、科学部、囲碁将棋部、吹奏楽部が様々な工夫で発表してくれました。展示発表では、各学年や教科、美術部、家庭部、科学部、読書部、華道部、茶道部そしてPTAが参加し、見やすいように廊下等を活用しました。より多くの生徒たちの素敵な発表の場をつくる改革元年です。



さらに改善・発展させていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

【11月に贈る詩】 意思決定と新たな目標設定の11月に、この詩を贈ります。

人生

水谷修

人生は、
一人ひとりが
自分の力で
つくりあげる
ものです。

時に耐え、
時に戦い、
時に休み、

自分の足で
歩まなくては
なりません。

※ 水谷修さんは、高校教諭時代に、夜の繁華街をパトロールする活動をはじめ、繁華街をさまよう少年少女たちと向き合い「夜回り先生」と呼ばれ話題になりました。

【公開授業！ ありがとうございます！】

10月9日（火）から10月13日（土）までの公開授業にご参観くださりありがとうございます。生徒たちにとっては、適度な緊張の中で**頑張りをみせられるよい機会**であると考えています。

学校と家庭の連携を今後ともよろしくお願いいたします。



校舎がとてもきれいでした。授業姿勢も2・3年がとてもよかった。途中から掛川先生にお話を聞かせてもらい、とてもよく分かりました。 [9日 6年男子 保護者]

公開といっても見に来ている保護者が少なく見学しづらいです。もう少し見やすくなると来やすいですね。ドアが開いている教室は見やすかったですが、閉めきっていると全く様子が分かりません。《ごめんなさい。次の日から開けておくようにしました。校長より》 [10日 2年女子 保護者]

子供達が発言している姿や楽しそうに授業を受けていてとても嬉しかったです。先生のいろいろな説明がわかりやすく、とても良い授業でした。ありがとうございました。 [11日 2年 保護者]

下町巡りでは、事前準備から今日の発表まで、家庭でかなり調べていたので、発表する姿が見られて良かったです。今時のパワーポイントを使いながら、各班の生徒達がしっかり発表している姿には感心しました。楽しそうな様子もあり、でも移動時等いつまでも静まらず騒がしい場面もあり、メリハリのある九中生のイメージが少し崩れ、先生方のご苦勞が目につかび、頭が下がる思いです。今後ともよろしくお願いいたします。 [13日 1年 保護者]

【地域で心を育てよう！ 10日道徳授業地区公開講座！】

11月10日（土）に、全学級の道徳授業を公開します。授業を参観するとともに、教育委員会の佐藤指導主事の講演を聴き、「**世界に誇る日本人の心**」について考えてみませんか。

生徒の授業や講演から学び、生徒や地域をさらに素敵に成長させることができるかもしれません。**学校・家庭・地域が連携**して取り組むためにも、ぜひ学校においでください。



【ちょっとした嬉しい出来事！ 自主的な勉強会！】

10月の後半から第3学年の数名が、朝7時30分頃から少人数教室で生徒同士の勉強会を行っている様子を見て、とても嬉しく思いました。学級委員が中心となって、勉強を教え合っているそうです。自ら**課題を発見し、仲間と共に解決する態度**は、人生を切り拓き、未来の可能性を広げるとても重要な力です。私は、また生徒から学ばせてもらいさわやかな気持ちになりました。



コラム：日本一胴上げ投手の元プロ野球選手から学ぶ

10月27日（土）に元プロ野球選手の伊藤義弘さん（千葉ロッテマリーンズ2010年の日本一 胴上げ投手）と会って、いろいろな話を聞きました。

伊藤さんが日本一になれたのは、アメリカのカーヴァーの言葉「世の中の失敗の99%は、言い訳をする習慣のある人たちによるものだ」を自分の生活に生かして、本気で頑張ったことと、当時のボビー・バレンタイン監督に「もっと〇〇した方が良い」など多くのアドバイスをもらい全力で取り組んだからだそうです。

けがのため34歳でプロ野球を引退しましたが、このことを教員になり学生に伝えたいと考えて、現在36歳で大学院に通って勉強しているそうです。「**言い訳をせず本気で全力で取り組む姿勢**」「**人の役に立つために頑張る姿勢**」に私自身が大変勉強になりました。生徒にも10月29日の終礼で共に頑張ろうと話しました。ご家庭でも頑張りをみて評価してあげてください。

